

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)	◎	商店街（代表者）	・周りの会社では、ほとんどが景気の良い様子である。
	◎	一般小売店〔書店〕（経営者）	・新政権が発足し、早速ガソリン暫定税率廃止やその他のいろいろな減税の話が出てきているため、良くなると大いに期待する。
	◎	コンビニ（店長）	・新内閣となり、ガソリン暫定税率廃止など物価高対策が期待できる。
	◎	乗用車販売店（経営者）	・今は辛抱の時期であり、これから年始から年度末への商戦に期待したい。
	◎	タクシー運転手	・新首相の誕生により良くなる。
	◎	美容室（経営者）	・髪をきれいにして正月を迎えたいと考える人が多いため、忙しくなる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・株価の著しい高騰が実際の景気にどう影響するか不明だが、希望的観測として良くなると期待する。
	○	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・この先は、最低賃金の上げやガソリン暫定税率の廃止もあり、政治の安定とともに景気はやや良い方向に向かう。
	○	百貨店（総務担当）	・政治が少しずつ安定してきて、米国の関税関係も一旦は落ち着いた状況である。今後の企業業績の発表や冬のボーナスで良い話が出てくれば、消費マインドも上がってくる。
	○	百貨店（営業担当）	・政治の安定が見込まれ、株価も安定している。
	○	百貨店（販売促進担当）	・新内閣の経済財政方針による各施策への期待感で、景気はやや良くなる。
	○	スーパー（経営者）	・青果価格は安定しつつあり、大阪・関西万博閉幕後は来客数が増加している。年末年始には参拝客の増加を期待している。
	○	スーパー（店長）	・首相が代わったことに期待したい。
	○	スーパー（店員）	・物価高といわれているが買い控えは発生していない。牛肉等の高価な食材も順調に売れてきているため、景気は上向くとみている。
	○	スーパー（店員）	・12月商戦を迎えるため、来客数は今よりも確実に増える。
	○	スーパー（支店長）	・首相が代わり閣僚も一新されて躍動的でエネルギーな体制となった。物価上昇に対する景気施策を優先的に進めてもらい、消費マインドの向上を期待したい。
	○	スーパー（販売担当）	・これからイベントが多くなるため、来客数の伸びが期待できる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・最近の株価高騰と新政権による景気対策実施への期待を込めて、やや良くなる。
	○	コンビニ（店長）	・新内閣への期待感から株価が5万円を超える状況だが、期待が先行している印象を受ける。実際にどのような景気対策が行われるかによって、今後の状況は変わる。
	○	コンビニ（店長）	・首相の交代による景気対策の効果により、やや良くなると期待している。
	○	衣料品専門店（店長）	・賃金は上がっておらず、一般客の売上は、それほど期待できない。一方、法人客の売上は上昇傾向にある。客の話から地域経済としては、仕事が増えてうまく回ってきている様子がうかがえる。
	○	衣料品専門店（売場担当）	・前月までと異なり、スーツの下見客が増えている。礼服と一緒に購入でかなり割安になるセット販売をしているため、目当ての客が多い。年明けの成人式用のスーツも少しずつ出るようになった。自店の強みはセット販売や学生割引、企業提携割引であり、そういった割引を使う客が多い。
	○	家電量販店（営業担当）	・政治が変わって経済の動きも変わってくると期待する。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・株価の高騰がどこまで続くかにもよるが、このまま高値が続けば消費マインドも上向く。
	○	乗用車販売店（経営者）	・ガソリン暫定税率が廃止されれば、少し良くなる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今月がかなり悪かったため、この先は良くなってほしい。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新首相への期待の高さを感じられ、年末年始に向けて消費が上向くことで景気はやや良くなる。

☐	一般レストラン（従業員）	・年末に向けてこの先2か月くらいは、消費が増えると期待する。
☐	都市型ホテル（総支配人）	・株価や政治の安定に期待したい。ただし、仕入コストや人件費は引き続き上昇して価格転嫁に苦戦しており、収益を圧迫する要因となっている。
☐	旅行代理店（経営者）	・新首相が決まり、政治が安定すれば経済も落ち着くためやや良くなる。
☐	タクシー運転手	・利用料金の値上げにもかかわらず乗り控えもなく、客足も良くなっている。ただし、若年層の客が多いため乗車の機会が遅い時間帯にずれ込んでいる。乗車率は高くこれから年末にかけてもっと利用が多くなることが見込まれ、売上の更なる上昇を期待したい。
☐	通信会社（企画担当）	・新政権による経済政策や対米関係の進展等で人々が先行きに希望を持てるようになれば、景気が上向いてくる。
☐	パチンコ店（経営者）	・近隣に大型商業施設がオープンするため、活気付くことを期待する。
☐	美容室（経営者）	・年末にかけてイベントや外出が増える。ボーナスも出るため消費が拡大する。
☐	美容室（経営者）	・ガソリン暫定税率の廃止など、新首相に代わって少し期待を持てるようになった。迅速に景気対策を実行してくれれば、景気は少し回復する。
☐	商店街（代表者）	・週末などはオーバーツーリズムの状態で変化がない。
☐	商店街（代表者）	・政権が交代して、政策をどこまで実行できるかにもよるが、うまくいくとしても景気回復の実感はまだ少し先になる。
☐	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・商店街の様子をみる限り、これ以上良くも悪くもならない。
☐	一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価の上昇はまだ続く見込みで、この状態がしばらく続く。
☐	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲料の値上げが飲食店での販売価格の改定に直結し、客が来店を控える悪循環になっている。年末を前に20年以上続いた個人店から閉店の連絡が入るなど、暗いニュースが続いている。
☐	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
☐	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・物価高が続き、買い控えは続く。
☐	百貨店（企画担当）	・売上は上がっているが、購買客数は売上ほど増えていない。インフレを含む商品単価の上昇が売上増加に影響している。今後も同様の傾向が続く。
☐	百貨店（営業担当）	・冬物の動きが鈍かったが、それ以外は堅調に推移しており、今後も大きく変化することはない。
☐	百貨店（販売担当）	・物価高での買い控えやインバウンド需要の減少が続くと、この先も好転は見込めず、大きな変化はない。
☐	百貨店（販売担当）	・Z世代においては、趣味に特化した購買意欲が高い。SNSと合わせた消費喚起は必須である。
☐	百貨店（営業企画担当）	・株価が高騰しているが、それほどの影響はまだない。
☐	スーパー（店長）	・今後も割引やポイントセール日に売上が集中する見込みである。
☐	スーパー（店員）	・営業時間の延長で売上は伸びるものの、人件費もその分増える。
☐	スーパー（販売担当）	・ここ数か月、店全体での売上や来客数は前年と同程度であり、この先も横ばいが予想される。花についてみると、何か工夫した売り方や打ち出し方、催事などを実施していかないと前年よりも落ち込む可能性がある。
☐	コンビニ（店長）	・食品の値上げが続いているが、消費者も値上げに慣れてきたのか、売上にも余り影響が出ていない。
☐	コンビニ（エリア担当）	・季節変動はあるものの、客の来店パターンや販売量には大きな変化はない見込みである。
☐	衣料品専門店（売場担当）	・景気が良くなる要因がみられない。
☐	衣料品専門店（販売企画担当）	・消費者の財布のひもは固い。

☐	家電量販店（店員）	・見積件数も少なくなっており、余り伸びそうな要素がない。
☐	乗用車販売店（経営者）	・インフレ傾向が続き消費者の財布のひもが固くなっている。自動車の販売価格も上がっており、購入にちゅうちょする客が増えている。
☐	乗用車販売店（経営者）	・新首相の積極財政指向が伝えられ、期待感から株価の高騰など明るい雰囲気が漂っているが、物価高の影響は収まっておらず、大きな変化は期待できない。
☐	乗用車販売店（従業員）	・今まで頑張って節約してきた分、プチぜいたくをしたいという声を聞く。年末を控え、クリスマスや年末から正月は少しリッチに過ごすとか、旅行に出掛けるといった話を客から聞く。しかし、生活にある程度余力のある人と、かつかつな生活の人との格差を感じる事が多く、社会全体の景気回復はなかなか厳しいと感じる。
☐	乗用車販売店（従業員）	・新型車が順次発売予定であるが、納車まで数か月は掛かる。現場は久しぶりに活気が出てくるであろうが、すぐに売上にはつながらないため、しばらくは良い状況とまではいえない。
☐	乗用車販売店（営業担当）	・政治の不安定さが影響していたのか、客が動いている気配がなかった。新しい首相が決まったものの、例年、年末に向かっては厳しくなるため、良くも悪くもない状況が続く。
☐	住関連専門店（営業担当）	・持家住宅や分譲マンション等の新規物件は減少しているが、リノベーション物件が増加している。特に中・小規模の住宅やマンション、店舗などで全面改築が増えている。官公庁の工事も現状は横ばいだが、来年にかけて増加が見込まれる。
☐	その他専門店〔書籍〕（社員）	・年末に向け販売量の増加が見込まれるが、円安傾向で商品の値上げも重なり、受注量は余り伸びない。
☐	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・賃上げは来年度以降の見込みである。足元は、物価高の影響により余り良いとは言い切れず、不透明感がある。
☐	高級レストラン（経営企画）	・景況改善による消費拡大の期待と節約マインドとの攻防であるが、年末年始商戦は激化する。結果として全体では横ばいの見込みである。
☐	一般レストラン（経営者）	・客の所得が増える様子もみえず、景気が良くなる要素がない。
☐	一般レストラン（経営者）	・円安が続くと厳しい。円高方向になってほしい。
☐	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・物価上昇のテンポが急激で、対応が追いつかない。
☐	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・多くの消費者は円安の進行と物価の上昇を結び付けてみている。今月は円安が進行したため、将来の物価上昇への懸念を話す客が多かった。しかし、実際の買い控えは発生しておらず、販売量への影響は今のところみられない。
☐	観光型ホテル（経営者）	・このところ前年よりも良い状態が続いており、足元で景気は以前よりやや良くなっている。3か月後もこのまま変わらない。
☐	都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断した。
☐	都市型ホテル（営業担当）	・円安が続くのであれば、悪くなる要素が現状は見当たらない。
☐	旅行代理店（経営者）	・物価高対策の効果が出ないと変化がない。
☐	旅行代理店（経営者）	・年末年始を迎え、今年は長い休みとなるため今後の駆け込み需要に期待したいが、今年も少し巣籠りの傾向がみられる。実家へ帰省での移動が多く、ある程度余裕がないと旅行には出掛けないとみる。春休みに旅行を計画する客層に期待している。
☐	旅行代理店（営業担当）	・旅行需要は、ここ1年変わらず一定の需要が続いている。冬場はインフルエンザや新型コロナウイルス感染症が流行して旅行を差し控える人が増えると推測されるが、それを見込んで、大きな減少はないとみる。
☐	通信会社（サービス担当）	・物価の上昇が続くなかで節約できるのは固定電話の解約と考える人が多く、まだ景気は良くない。
☐	テーマパーク（職員）	・集客はスノーシーズンの積雪状況による。

□	観光名所（案内係）	・周囲からは景気が良くなるような話は一切聞こえてこないが、新首相が誕生し、初めての女性首相という点からも新体制には期待している。
□	ゴルフ場（経営者）	・労務費など諸経費が上昇するなか、今後も価格転嫁が難しい状況が続く。
□	パチンコ店（従業員）	・時期的に来客数は増えるが、大きなインパクトはない。
□	美顔美容室（経営者）	・年末までキャンペーンセールが継続し、さらに、美容商品のリニューアルもあるため販売につながる。
□	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・政権が代わり介護業界への対策も挙がってはいるが、特定のサービスや職種に限った話であれば、いつものように福祉用具関係者は恩恵にあずかれない。
□	設計事務所（職員）	・ニュースなどで新首相が話している様子をみると期待できそうだが、米国関税等の問題を考えると、余り変わらない見込みである。
□	住宅販売会社（経営者）	・新内閣がどういった政策を実施するかによって先行きが変わるため、現時点ではどうなるか分からない。
□	住宅販売会社（従業員）	・しばらく大きな変化はない。
□	住宅販売会社（従業員）	・変化がなければまだ良いが、例年のように年末にかけて来場者数が減ると、負の連鎖が始まり取り返しが付かない状況になりかねない。
□	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・好転する要素は少ないが、下落幅等が緩やかになっている印象を受ける。
□	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・新築物件等はほとんどなく、リフォーム工事の引き合いが少々ある程度である。一部好景気の企業からメンテナンス工事の引き合いが来ているが、全体的に少ない。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・年末に向けて退去ばかり増加しており、先行きが不安である。
▲	百貨店（経理担当）	・株価高騰が一段落すれば富裕層の消費は一服する。新政権による物価対策も大きな効果が得られなければ、中間所得者の消費が落ち込むことによって景気は下降する。
▲	スーパー（店長）	・商品の値上げ要請が継続しており、販売価格への転嫁が難しい局面へと移行している。
▲	スーパー（店員）	・担当カテゴリーにおいて生活必需品の販売点数等は堅調に推移しているが、し好性の強いカテゴリーにおいては、買い控えが続いている。商材の値上げは続いており、好転する要因が見いだせない。
▲	コンビニ（企画担当）	・これから年末を迎えるが、帰宅時間が早くなり、夜の来客数は減少する見込みである。
▲	コンビニ（店長）	・物価高の影響により余計な物は買わない傾向があり、ガソリン代が安くなったところで、この流れは変わらない。
▲	コンビニ（店長）	・商品の魅力に欠けるため、一般客のコンビニへの来店頻度はかなり低下している。ヘビーユーザーの取り合いが激化し、競争力の高い店舗のみが一定の数字を確保できる状態が顕在化する。周辺競合店との差別化競争に負けるとかなり厳しくなる。
▲	コンビニ（商品企画担当）	・年末年始に向けて人流の増加が想定されるものの、大阪・関西万博閉幕の影響により、売上は一旦落ち着く見込みである。
▲	コンビニ（本部管理担当）	・首相交代や好調な株価といった明るい話題はあるが、小売業全体への好影響は限定的と言わざるを得ない。地方経済の停滞が顕著で、特に直近ではインバウンド需要の取り込みが難しい地方の店舗において、来客数の前年割れが深刻化している。今後は、地方と都市部との間で景況感の差が更に拡大していくと予想する。
▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・年々秋の始まりが遅くなっているため、冬物商戦の期間が短くなっている。物価高の影響か、来客数の減少が進んでおり、当店の規模では回遊型の客が特に減っている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・人気車種の受注再開がない限り、販売台数増加は見込めない。販売したくても、ディーラーごとに割当て台数が決まっており、待っている客の全てに販売できるとは限らない。
▲	乗用車販売店（販売担当）	・車両本体価格と金利がかなり上がっている。客層も年配者が多いため会社を退職する人が多くなってきて、販売が厳しい。新車を購入せず、車検を通して乗り続ける人が増えている。

	▲	観光型ホテル（支配人）	・ 好調な宿泊部門に比べ、料飲部門の予約が伸びていない。雰囲気は悪くないが、忘年会や新年会シーズンの予約が余り良くなく、予断を許さない状況である。
	▲	旅行代理店（経営者）	・ 600円程度の弁当屋が流行している一方で、1000円以上のランチやオフィス街のレストランは客が減っている。昼食の時間帯にはコンビニの行列も以前より長くなっており、昼食は500円以下で済ませたい人が増えている様子である。
	▲	旅行代理店（営業担当）	・ 旅行需要が一旦落ち着く時期のため、特に団体旅行の取扱は減少傾向である。貸切バスの運賃改定により、バス利用が多少減少する見込みである。
	▲	テーマパーク（職員）	・ 物価高などで景気が不安定である。
	▲	テーマパーク職員（総務担当）	・ 入園料収入に頼った収支計画のもと集客が伸び悩む現状では安定的な財源の確保が難しくなっている。支出においても人件費や水道光熱費等の上昇に対する懸念が著しく高まっている。
	▲	理美容室（経営者）	・ 客との会話で、物価上昇により生活が苦しくなっているという声を聞く。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・ 競合他社がこれまでに輪を掛けて価格を下げ、適正価格を崩して利益率を下げている。今後はますます厳しい経営が続く。
	×	商店街（代表者）	・ 米の値段が大きく上がり、新米が出回っても下がるどころか更に上がっている。農家からの直接購入でも、前年から2倍以上になっている。主食である米の価格が2倍以上となるような物価高に対して特に対応する政策もないようでは、景気が良くなるはずがない。
	×	百貨店（売場主任）	・ 寒くなってきて冬物が伸びる時期になるが、紳士靴にはブーツ等の需要があるわけではない。同じフロアの衣料品店でダウンジャケット等を見ている人は多いが、ブーツを求めて店頭に来る人は今のところいない。ファッションに敏感な若者の来店はあるが、店頭で試着してサイズを確認するだけで購入には至らず、売上につながらないため厳しい状態である。
	×	衣料品専門店（経営者）	・ 年末年始で何かと物入りになるため、生活必需品ではない衣料品の購入までには至らない。
	×	住宅販売会社（従業員）	・ 金利の上昇と資材の高騰で、より一層仕事の依頼が減る。
企業 動向 関連 (東海)	◎	金融業（従業員）	・ 新内閣の具体的な政策はまだこれからだが、国民の期待感を考慮すると、景気の活性化が期待できる。
	○	食料品製造業（社員）	・ 新内閣の政策への期待感から消費意欲が高まる。
	○	化学工業（営業担当）	・ 最先端の半導体向け電子材料薬品の需要増加は今後も継続する見込みである。年明け以降、更に増量が見込まれる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・ 年末に向けて客先業界の設備投資が期待できるため、12月の生産量、出荷量が増える見込みである。
	○	輸送業（従業員）	・ 新政権となり積極的財政という考えから市場に期待感がみられる。運送業界でも、ガソリン暫定税率廃止により国内輸送も伸びるのではとの期待感がある。
	○	輸送業（エリア担当）	・ 為替の影響から輸出の増加が見込める。
	○	金融業（従業員）	・ 年末年始に向けて人の動きや消費が増え、景気が良い方向に向かうことを期待する。
	○	新聞販売店〔広告〕（店主）	・ 物価高対策など目に見える政策が行われれば、連鎖的に良い動きが期待できる。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・ 新首相に代わり、株高・円安でもあり、経済的に期待を持てる。ただし、原材料の値上げを製品に転嫁できず採算面で苦境が続き、景気は今と変わらない。
	□	化学工業（総務秘書）	・ 新首相の経済対策に期待が集まっており、短中期的に良くなっていく可能性がある。ただし、株価高騰はA I パブルによるものであり、A I 関連企業への高い評価が変わると世界的な影響を及ぼす。
	□	窯業・土石製品製造業（社員）	・ ほとんどの主要取引先が好調であるため、しばらくは現状維持の見込みである。
	□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・ 受注量、販売量の見込みから判断した。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	・ 年内に予算を消化するための駆け込み受注も見受けられ、市場自体が拡大しているとまではいえない。

	☐	電気機械器具製造業（企画担当）	・新政権が発足して減税など景気対策が期待されているが、様々な動きがあるため先行きは不透明であり、成果があがるまでは様子見である。
	☐	電気機械器具製造業（経営者）	・販売量が増加する見込みがなく、新機種等の問合せもなくこれまでと変わらない販売量にとどまっている。
	☐	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・求人募集を掛けても人が来ないということは、各所で求人があり求職者を取り合っているという状況と考えられ、景気は良くなっている。
	☐	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・今後は光熱費も上がりそうで心配である。
	☐	建設業（役員）	・今後数か月で景気が良くなる要素が見当たらない。
	☐	建設業（経営者）	・新内閣には大胆な改革を期待しているが、動きがまだみえない。
	☐	建設業（営業担当）	・事業所向けサービスとしては、企業の経営状況や景気自体が余り良くないと仕事が出にくくなる。景気が良くなってくれば、安全面や災害対策に関連する予算が通りやすくなり、受注も増えていく。
	☐	輸送業（経営者）	・物価上昇で消費意欲が低迷する状態が続く。荷主においても、自社の賃金引上げや資材価格高騰への対応に迫られ、物流費の値上げ交渉に応じる余裕がないという話が多い。
	☐	輸送業（従業員）	・年末に向けて受注量が多少増えそうではあるが、まだ確定した話ではない。全ては荷主の出荷量次第である。
	☐	輸送業（エリア担当）	・受注に波はあるが、高水準で受注できている。単価改定については、まだ変更受諾の回答がない。
	☐	通信業（法人営業担当）	・期待できる要素がない。新首相の誕生が経済界に及ぼす影響は未知数で、即効性には欠ける。企業にも打って出る投資や効果的な施策がない。
	☐	金融業（企画担当）	・中小企業においては、原価率が従前程度まで改善できないと従業員の給与も上げることができない。その結果、個人消費も伸びず、現状のままの景気は当面続く。
	☐	不動産業（経営者）	・晴れの日が多くなりそうな予報であり、外出や遠出をする人は増加する見込みである。今後も売上は増加し、前年を上回ると予測する。
	☐	広告代理店（制作担当）	・少しずつではあるが、企画提案中の案件等が具体的な形になると期待する。
	☐	会計事務所（職員）	・主に米国向け製品受注は減少がみられるが、アジア、欧州など関税の影響を受けない地域に向けた製品の受注により、完全ではないがリスクが回避されている。
	☐	会計事務所（職員）	・年末年始が控えており、例年どおり一時的に消費が増えるだろうが、景気が良くなるとまではいえない。
	☐	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・新内閣は日本を強く豊かな国にすると言っているが、具体的にどうするかが大事である。個々の政策には賛成のものもあるが、景気浮揚のためには高速道路を無料化してほしい。
	▲	食料品製造業（経営企画担当）	・年末年始の需要期であるが、消費者は買い控え傾向がますます強くなる。
	▲	金属製品製造業（従業員）	・春先以降の仕事量の心配は業者間でもよく聞かれ、実際に受注量は減少気味である。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・この先はプロジェクトが未定であるため判断が難しいが、悪くなる可能性の方が高い。
	▲	輸送業（従業員）	・10月に運賃改定で値上げした影響がしばらく続くとみられ、クリスマス前後の繁忙期においても、荷物量は減少傾向が続く見込みである。
	▲	通信業（総務担当）	・政治は安定し株価は上昇しているが、国民の暮らしは全く良くなっていない。賃金と年金の手取り額を上げないと、生活必需品の購入が精一杯でぜいたくをしようというムードが発生しない。
	▲	不動産業（経営者）	・有用な人材の不足が深刻化するため、業種によっては業績にも影響する。
	×	食料品製造業（営業担当）	・値上げに伴い販売数が落ち込んでいる。
	×	鉄鋼業（経営者）	・見積量と受注量が極めて少ない。
	×	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しているため、今後は悪くなる。
雇用	◎	—	—

関連 (東海)	○	人材派遣業（営業担当）	・新内閣発足による好転を期待する企業が多く、中小企業経営者のモチベーションも明らかに向上している。今後の政策によっては、大きく好転する可能性がある。
	○	人材派遣会社（社員）	・年末にかけて、特に忘年会の予約状況は良くなっている。
	○	民間職業紹介機関（窓口担当）	・全国拠点のなかでも当地域の求人数は緩やかではあるが増加傾向にある。派遣業務に特化しているため、求人倍率とは関連しないが、年度途中からのパート社員派遣の依頼が増えてきている印象を受ける。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・年度末の転職を見越した活動意欲の高い人が動き出し、下期に新規求人が発生している状況から、時期的にも面接などが増加する見込みである。
	□	人材派遣会社（社員）	・提示年収を上げる体力のある企業は限られており、今月より景気が良くなるほどの件数増加はない見込みである。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・求職者数の増加が見込めないため、採用者数の増加も難しく、2～3か月では大きな変化は見込めない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・新政権になり一定の期待感はあるが、2～3月では身の回りの景況感の変化は期待できない。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・最低賃金が大幅な引上げとなり、請負事業や労働者派遣事業においては、取引先へ請負単価や派遣単価の料金改定交渉を進めている。大手企業には応じてもらえるが、中小企業は二つ返事で応じるところは少なく厳しい状況である。継続して料金交渉を進めていくしかない。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・すぐに労働環境や市場に変化はないとみられるが、新首相になって、新たな施策が出てくるかどうか注視している。
	□	職業安定所（職員）	・最低賃金の引上げは、特に中小企業で今後の雇用に影響を与える懸念が大きい。
	□	職業安定所（職員）	・売上が好調との企業からの情報はあるものの、最低賃金引上げや米国関税の影響もあり、先行きが不透明である。
	□	職業安定所（職員）	・最低賃金引上げによる雇用への影響について、見通しが立てにくいいため、先行きは不透明である。
	□	職業安定所（職員）	・最低賃金引上げによる影響が懸念されるが、引き続き中小企業を中心に採用意欲は高い。
	□	職業安定所（職員）	・中小企業では原材料費、燃料費、運送費や人件費など諸経費の高騰が負担となっている状況が継続している。猛暑等の気候や物価高騰に起因する消費動向の変化により、一部産業では受注が厳しい状況とみられる一方、受注が堅調な産業もある。人手不足感が深刻な産業も見受けられるが、物価高騰に伴う消費動向の停滞や予測が困難な経済動向への懸念等から新たな求人提出を控え、様子見をする産業や企業も少なくない。現時点で大きな生産調整や雇用調整などの情報は入っておらず、当面は、景気動向の大きな変化は生じないと判断する。
	□	職業安定所（職員）	・今後の業況について聴き取りを行ったところ、横ばいとの回答が多数であった。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・現時点で企業からの求人募集は件数も採用人数も前年同期と特に変わらない。一方、前年にあった関東圏からの求人は減少傾向である。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・新卒採用求人については比較的堅調に推移している。今後2～3か月で状況が大きく変化することは想定しづらい。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・電気自動車向けユニット開発の一部では、先行開発はまだしも、目先の開発プロジェクトに一服感が出ており、人員減少の流れが予想される。
	▲	職業安定所（職員）	・卸売小売業や飲食・宿泊業の新規求人数が、前年比では10か月連続減少している。物価高騰の影響が引き続き管内の求人数を減少させている。
	×	—	—